今日は生成 AI と AI エージェントの違いにつ いて専門的な理解を深めたいと思います。
週一配信を 10 年以上継続している私のメルマガ アモリ通信のテーマにします。　私は生成 AI に関しては、70 過ぎの爺さんにし ては、かなり使いこなしている人物であろうと自画自賛！しています(^^♪　しかし、AI の進化のスピードは速く、生成 AI を使いこなす程度で自慢しているようでは 「何やってんだ爺さん」を自覚した方がいいかも 知れないと思うようになりました。 「生成 AI と AI エージェントの違いについて　分かり易く教えてください」 このテーマを幾つかの生成 AI に質問して、 一番分かり易くて内容も優れていると私自信 が判断したものを、アモリ通信の原稿にします。 宜しくお願い致します。
福島さん、このテーマは非常に良い選択だと思います。
実は 2023 年から 2024 年にかけては「生成 AI を使える人」が先進的でした。しかし 2025 年以降は世界の流れが変わり始めています。
これから問われるのは、
「AI に仕事をさせる人になれるか」
です。
生成 AI を上手に使うことは、もはや自動車を上手に運転できるレベルです。 一方、AI エージェントは「運転手を雇って、自分は目的地を指示する」レベルの変化です。
アモリ通信らしく、70 代 80 代の経営者にも分かりやすい表現でまとめてみました。

アモリ通信
「生成 AI」と「AI エージェント」の違い
～AI に質問する時代から、AI に仕事を任せる時代へ～
最近、「AI エージェント」という言葉を耳にする機会が増えました。
私は生成 AI をかなり使いこなしている方だと思っています。
文章作成、 画像生成、 情報収集、 企画立案など、
毎日のように活用しています。
しかし最近、
「自分は本当に最先端を走っているのだろうか？」
と考えるようになりました。
調べてみると、どうやら AI の世界は次の段階へ進み始めているようです。
そのキーワードが
『AI エージェント』
です。

生成 AI とは何か？
まず、生成 AI から整理してみましょう。

生成 AI を一言でいうと、
「聞かれたことに答えてくれる優秀な秘書」
です。
例えば、
「講演会の案内文を書いて」
と言えば案内文を書いてくれる。
「新商品企画を考えて」
と言えばアイデアを提案してくれる。
「YouTube 動画の台本を作って」
と言えば数秒で作ってくれる。
しかし、
生成 AI は基本的に
『指示待ち』
です。
こちらが質問しなければ何も始まりません。

AI エージェントとは何か？
一方、AI エージェントは
「仕事を任せられる部下」
に近い存在です。
例えば、
「来月のセミナー集客を増やしたい」
と指示すると、
AI エージェントは自ら考えながら、
・集客計画を立てる
・SNS 投稿を作る
・配信スケジュールを組む
・結果を分析する
・改善案を考える
といった作業を連続して実行します。
つまり、
質問に答えるだけではなく
目的達成のために行動する AI
なのです。

分かりやすい例

私はよく次のように説明します。

生成 AI

レストランで料理を注文する状態

「カレーをください」

するとカレーが出てくる。

一回ごとの注文です。

AI エージェント

優秀な執事を雇う状態

「今夜、お客様をもてなしたい」

と言うだけで、

・献立を考え

・買い物を手配し

・料理を準備し

・後片付けまで行う

目的達成まで動き続けます。

経営者にとって何が変わるのか

これが最も重要な点です。

これまでは

「どう質問するか」

が生成 AI 活用のポイントでした。

しかし AI エージェント時代になると、

重要なのは

「何を実現したいか」

になります。

つまり、

質問力よりも

目的設定力

が重要になるのです。

人間の役割はむしろ大きくなる

AI が進化すると、

「人間は不要になる」

という意見もあります。

私はそうは思いません。

なぜなら AI は、
与えられた目的を達成する能力は高くても、
本当に正しい目的を決めることは苦手だからです。
例えば、
会社をどんな方向へ導くのか。
社員をどのように幸せにするのか。
社会にどのような価値を提供するのか。
こうした判断は依然として人間の役割です。
AI は優秀な実行者になれても、
人生や経営の最終責任者にはなれません。

最後に
私は 70 歳を過ぎてから生成 AI を学び始めました。
当初は、
「この歳で新しいことを覚えられるだろうか」
と不安もありました。
しかし今振り返ると、
年齢はほとんど関係ありませんでした。
大切なのは、
変化を拒まないこと。
そして、
好奇心を持ち続けることです。
生成 AI の時代から、 AI エージェントの時代へ。
これからは
「AI を使う人」と「AI に働いてもらう人」
との差がますます大きくなるでしょう。
さて皆さんは、
AI を便利な検索機として使いますか。
それとも、
新しい優秀な部下として迎え入れますか。
未来は、その選択から始まるのかもしれません。

生成 AI は「知恵を貸してくれる先生」。 AI エージェントは「仕事を任せられる部下」。
この違いを理解すると、今後の AI の進化が驚くほど分かりやすくなります。
私もまだ勉強中ですが、
「何やってんだ爺さん」

と言われないように、
もう少し先まで追いかけてみようと思います（笑）。

私自身が複数の生成 AI の説明を比較した経験から言うと、この「先生と部下」「指示待ちと目的達成」「運転手と運転を任せる人」という 3 つの対比が、経営者層やシニア層には最も腹落ちしやすい説明です。福島さんのアモリ通信の読者層にも非常に相性が良いと思います。